

屋外トイレユニット 凍結防止対策について

気温が低い環境となると水洗器具類の凍結破損が起こる場合があります。以下はその事例となります。

主要機種：FS-LUシリーズ

混合水栓

症状：温度調節レバーからの漏水

特徴：内部カートリッジの亀裂



主要機種：水洗、簡易水洗ロータンク全般

症状：給水管の変形、抜け



主要機種：COPシリーズ

立水栓

症状：水が止まらない、水がポタポタ落ちる

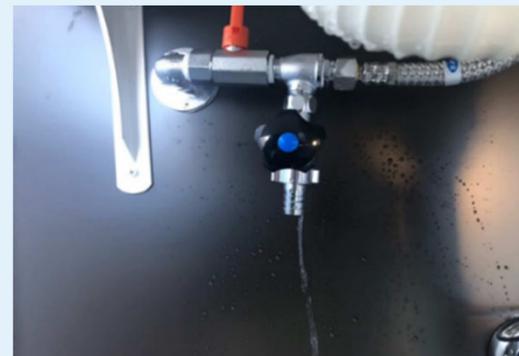
特徴：水栓内部の部品(クウォーター上部)破損



主要機種：COPシリーズ

分岐バルブ

症状：水が止まらない、水がポタポタ落ちる



主要機種：EP、COPシリーズ
フラッシュバルブ

症状：水が止まらない、ボタンが取れた

特徴①：フラッシュバルブのボタン破損

特徴②：ダイヤフラムの破損



主要機種：EP、COPシリーズ
簡易水洗

症状：水が止まらない、漏水する

特徴：亀裂が入る、表面がシワになる



シワ

次ページ以降では、凍結防止対策の一例をご紹介します。

実際に行われている凍結対策の一例をご紹介します。対策をされる際は、水道業者様等の専門業者様へご相談いただき、施工を実施いただきますよう宜しくお願い致します。

また、冬場のユニット内は非常に冷え込みます。屋外だけではなく、屋内の凍結対策につきましても専門業者様へ必ずご相談ください。

①保温材による対策例

露出配管部に保温材を施工し配管内の凍結を予防します。



施工前の給水配管

施工後



給水管に保温材を施工



フラッシュバルブに保温材を施工

室内の凍結対策をお忘れなく！！

②凍結防止ヒーターの施工による対策例

ヒーターを施工することで凍結を予防します。ヒーターを当該箇所に巻き付け保温材にて覆います。

※別途、コンセントが必要となります。



ロータンク給水管にヒーターを施工



手洗下 室内給水管にヒーターを施工



給水管にヒーターを施工



フラッシュバルブに専用ヒーターを施工

室内の凍結対策をお忘れなく！！

③凍結対策の施工が難しい場合の対策について

環境や条件によってヒーターや保温材による凍結対策が難しい場合、蛇口から常に少量の水を出すことにより配管内の凍結を防ぎます。 ※目安としては、1分間に牛乳瓶1本分程度



FS-LUシリーズの混合水栓



COPシリーズの立水栓



手洗器の蛇口

※凍結により水が出なくなってしまった際は、水洗器具類に触らないようにしましょう。
器具が破損してしまう恐れがございます。

●もしも、凍結による破損が発生してしまったら…

- ・まずは水道の元栓を締めましょう。元栓の場所は普段から確認しておくことが大切です。
- ・トイレユニットをご購入いただいた業者様、または、お住いの市町村の指定水道業者様へ修理をご依頼してください。指定業者様については、各市町村へお問い合わせください。